

委員会活動報告書

委員長名 鈴木 良美

【委員会名】		健康危機管理委員会
【メンバー】		◎鈴木 良美(東京医科大学)、○石田 千絵(日本赤十字看護大学)、山下留理子(徳島大学)、堀池 諒(奈良県立医科大学)、佐藤 太地(日本赤十字看護大学)、尾無 徹(岩手県立大学)、¥門脇 睦美(東京医科大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名
【活動方針】		1. 2024年度までに作成した健康危機管理教育向上のための視聴覚教材を普及させる。 2. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。
2025(令和7)年度		
達成目標	1. 健康危機管理教育向上のための視聴覚教材について会員校等への普及を促進できる。 2. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。	
活動報告	1. ・視聴覚教材普及の一環として、2025年9月5日の夏季教員研修会分科会において、視聴覚教材「健康危機管理の保健師活動:アドバンスド版」のうち感染症編のシミュレーション教材について、基盤となる理論と方法論への理解を深めるための研修を行った。 ・視聴覚教材「健康危機管理の保健師活動:アドバンスド版」は、授業での活用を想定し演習内容やインタビュー内容を要約した構成としている。しかし①会員校から、感染症編のシミュレーションについては要約ではなく、実際のやり取りを通して展開方法をさらに具体的に学びたいという要望があった。また②災害編については、インタビュー等を大幅に要約しているが、具体的な活動記録として保存することに意義があると考えられた。そこで、既存教材のロングバージョンを新たに作成した。これらは、会員校が活用できるようURLにて配布した。 2. ・本年度より本委員会が常設委員会となったことに伴い、「災害発生時の支援」に関する規定の見直しを行った。 ・さらに自然災害等の発生時に、会員校に対して迅速かつ適切な支援を行うためには各校における災害への備えや過去の災害時の支援・受援の実態を把握することが重要であると考えた。そのため来年度に向けて、会員校を対象とした調査を実施する予定である。	